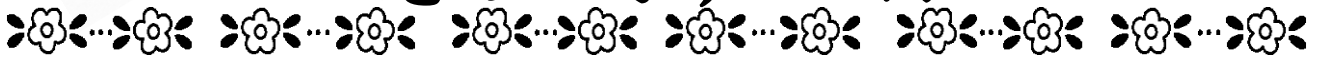


学校教育目標『つながる 続ける 創り出す』

令和5年11月22日

横浜市立三ツ境小学校

# 三ツ境小だより 12月号



## 「上手な時間の使い方」

校長 飯田 雅人

10月28日(土)に行った「三ツ境防災の日」では、地域と学校が一体となった訓練を行うことができました。子どもたちにとっては、地域や関係諸機関の皆様にご教壇をいただきながら、あらためて防災について考える良い機会となりました。地域の皆様、そして関係諸機関の皆様のご協力に感謝申し上げます。

まもなく師走。師走とは、誰もが年の瀬をひかえて何かと慌ただしくなる時期で、どっしり構えて読経する師僧までも走り回らなければと思わせるほど多忙な月であるとされています。時間に関わる四字熟語には、「一寸光陰」ほんのわずかな時間も無駄にしてはいけないという戒めの言葉であったり、「一刻千金」わずかな時間が千金に値するほど大変貴重であるということを教示したりする言葉など、時間は大切に使わなければいけないということを意味する言葉はたくさんあります。

さて、日頃ご家庭に帰ってからの子どもたちの「時間の使い方」はいかがでしょうか？習い事や友達との遊びなどに子どもたちは忙しく過ごしていることと思います。忙しい合間をぬって「テレビをつけっぱなしにしながら本を読んでいる」とか、「お菓子を食べながら宿題をしている」ということがもしかしたらあるかもしれません。忙しいとはいうものの、「～しながら」というやり方は、決して「上手な時間の使い方」ではないことは言うまでもありません。だらだら時間を使ってしまえばかりか、何かをしてがんばったとか、できるようになったという満足感も十分には得られないはずです。もちろん時として気分転換などのんびり過ごす時間も必要です。しかしながら大切なのは、めりはりであったり、けじめであったりではないかと思えます。そのためには、物事に対して見通しをもって取り組むことが重要です。

学校生活でも同じです。子どもたちは毎日忙しく過ごしていますが、例えば上手に時間を使っている子どもは、委員会活動や実行委員会の活動などの自分に与えられた仕事に対して、隙間の時間などに集中して取り組むことができ、その成果を上げることができます。そういう子どもは、遊びや自由に過ごす時間も十分にとることができ、けじめをつけることもできているので学習効果も上がっています。逆にすぐに取りかかることが苦手だったり、めあてがなくだらだらと取り組んだりしている子どもは、遊びの時間も十分にとることができず、不満げに「忙しい、忙しい」と言っているような気がします。どちらが「上手な時間の使い方」でしょうか？

私も今年度4月に着任して8か月が過ぎました。これからも今までの積み重ねを生かし、上手に時間を使って、さらに伸びゆく三ツ境小の子どもたちのために尽力していきたいと思えます。これまでの学校づくりに対するご理解とご協力に、教職員一同、心からお礼を申し上げます。皆様がいよいよ今年を迎えられることをお祈りいたします。